

## 事業費

事業費全体費用：20,667千円 補助対象経費：19,989千円

## 事業主体 / 運行主体

事業主体：福井市地域生活交通活性化会議

運行主体：福井交通株

## 事業背景・目的

- 深刻な運転士不足の影響により、大幅な路線バスの廃線、減便が生じ、地域住民の移動サービスが低下している。
- また、路線バスの廃線、減便に伴い、郊外地域を中心に交通空白が生じている。
- 移動サービス低下による利用者の減少に伴い、行政負担額も増大しており、限られたリソースを効率的に配分するためのバス路線再編が急務となっている。
- その取り組みの一つとして、令和8年度には福井市の北東地区の市街化調整区域をカバーするようにオンデマンド交通の実証運行を行い、交通モードの転換を図る。

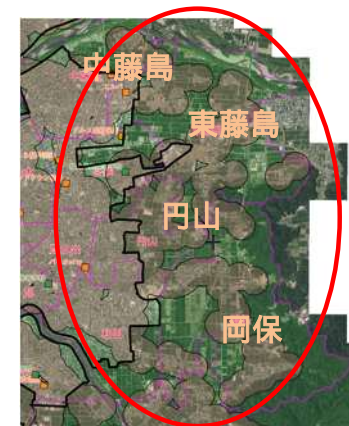
## 事業概要

交通サービス	オンデマンド交通
運行頻度	月～土、8時～17時
運賃	無料
実施内容	路線バスや乗合タクシーの運行が少なく、移動に困る住民に向けて、決められたエリア内であれば、利用者の希望する時間に希望する場所まで移動できるオンデマンド交通を運行

## 運行期間

令和8年11月1日～30日の1カ月間

## 事業実施地域



福井市の北東（ほくとう）地区

- 福井市の中藤島（なかふじしま）地区、東藤島（ひがしふじしま）地区、円山（えんざん）地区、岡保（おかぼ）地区の市街化調整区域をカバーするようにオンデマンド交通を運行

## 事業イメージ



- セダン車両2台、ジャンボタクシー車両1台を運行事業者から借り上げて運行
- 北東地区の住宅地近辺や、地域拠点（商業施設、駅、病院など）に停留所を設置し、各種交通手段の連携強化と利用効率の向上を図り、持続可能な地域公共交通ネットワークを構築する。

## 見込まれる事業効果

### 【定性・定量効果】

- 運行期間中の利用者数は、1カ月間で627人を想定
- 地域拠点や乗継拠点における鉄道や路線バスへの乗継状況について分析し、効率のかつ効果的な公共交通ネットワークを構築する。

### 【「交通空白」への効果】

- 当該エリアの地理的な「交通空白」を解消
- 将来的には有償によるオンデマンド交通の本格運行を実施予定

事業実施体制

